

平成21年12月分電力需給状況

需要の概要

平成21年12月の販売電力量は、22億5千9百万kWh時、前年比 96.7%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、11月下旬から12月上旬までの気温が前年に比べ高めに推移し、暖房需要が減少したことなどから、前年比 96.3%となった。

電灯等の低圧需要の12月分検針期間は、前月(11月)の検針日～当月(12月)の検針日の前日までの1か月間であるため、11月における気温影響の一部は、12月分に反映される。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、前年比 100.6%となった。

産業用の「大口電力」は、鉄鋼や機械が前年を上回ったものの、繊維や化学が引き続き低い水準で推移していることなどから、前年比 96.2%となった。

需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電灯	776	96.3
	電力	136	92.8
	計	912	95.8
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	522	100.6
	産業用電力	825	95.4
	うち大口電力	(644)	(96.2)
	計	1,347	97.3
販売電力量 計		2,259	96.7
融 通		421	79.6

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
電力量	前年比	前年比		
		21/12月	21/11月	21/10月
繊維	26	83.6	66.8	81.0
紙・パルプ	132	92.7	82.7	85.1
化学	89	83.9	92.5	93.1
鉄鋼	78	104.5	92.7	96.4
機械	134	108.7	98.2	89.5
その他	185	96.3	94.4	96.4
合計	644	96.2	90.8	91.2

注：日本標準産業分類の改訂に伴い、平成21年4月より産業別内訳がそれ以前と異なる。
平成21年4月以降の前年比は、前年同月実績を現在の区分に合わせることで算定した。

供給の概要

- 原子力は、前年並みの 99.9%となった。
- 水力は、前年比 97.4%となった。
- 火力は、需要の減少などにより、前年比 92.6%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		備 考
		電力量	前年比	
原子力	(48)	1,533	99.9	出水率 88.5% (20年12月出水率 113.3%)
水力	(4)	134	97.4	
火力	(47)	1,494	92.6	
新エネ	(1)	32	130.5	
発受電計	(100)	3,193	96.5	
その他		11		
供給計		3,182	96.1	

注1：新エネには西条バイオマス(1百万kWh時)を含む 注2：()内は構成比

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4県都平均気温

実績	21/11月				21/12月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実績	15.9	13.5	12.1	13.8	10.5	8.6	6.9
平年差	0.8	0.4	1.3	0.8	1.2	0.7	0.1	0.5
前年差	0.1	0.8	1.5	0.7	1.4	1.1	0.9	0.3

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳島	高知	愛媛	香川			
販売電力量計	(97.9)	503	(95.9)	361	(95.6)	798	(97.7)	597

注：()内は前年比